

浜松市中山間地スモールスマート農業実証プロジェクト 見学会の開催について

浜松市ではスマート農業の普及促進の一環として、令和2年度より市内の農業者やスマート農業機械のメーカー等と連携して、国のスマート農業実証プロジェクトに参加しています。この度、本プロジェクトについて下記のとおり見学会を開催いたしますので、ご報告いたします。

7月7日に雨天中止となった見学会の代替開催です

記

1 日時

令和2年8月5日(水) 10時30分から12時00分まで

※ 雨天中止・小雨決行を予定しています。ただし、前日までの降雨量が多い場合、当日の天気にかかわらず中止とする場合があります(圃場がぬかるんで機械を使用できないため)。

※ 中止の場合は前日までに改めて報道発表を行います。

2 集合場所

春野ふれあい公園駐車場(天竜区春野町領家145-1)

※ 事前申込は不要です。参加希望の方は直接、集合場所にお越しください。

3 内容

(1) プロジェクトの概要説明

(2) スマート農業機械の実演(リモコン草刈機、自動操舵トラクター)

※ 7月22日に実施した試験では従前の作業方法と比べて作業時間が半減し、作業者の疲労感も大幅に軽減しました。

4 対象者

スマート農業に関心のある農業者及び報道機関

5 その他

本プロジェクトに関する参考情報を本紙裏面に掲載します。



<本プロジェクトに関する参考情報>

1 プロジェクトの背景

農業現場の省力化や生産性向上のため、スマート農業の普及促進が喫緊の課題となっています。スマート農業の導入は比較的集約化・大規模化が進んだ農地を中心に進められてきましたが、そうした好条件の農地は限られています。スマート農業を幅広く普及させるためには、小規模な農地が分散しているような不利な条件下でも持続可能な「スモールスマート農業」のビジネスモデルを確立する必要があります。

また、国土縮図型の政令指定都市である本市にとっては、中山間地域の地域振興の観点からもスモールスマート農業のビジネスモデルを確立することが重要となります。

そこで、本市では春野地区の農業者や市内のスマート農業機械メーカー等と連携して「浜松市スモールスマート農業実証コンソーシアム」を立ち上げ、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構（通称：農研機構）のスマート農業実証プロジェクトに参加しています。プロジェクト期間は令和2年4月1日から令和4年3月31日までの2年間で、スモールスマート農業による持続可能な地域振興のビジネスモデルの確立を目指します。

2 プロジェクト参加者

浜松市、笑顔畑の山ちゃんファーム、春野耕作隊、静岡県西部農林事務所、JA遠州中央、ヤマハ発動機株式会社、協和テクノ株式会社、株式会社日本農業サポート研究所

3 農業者紹介

笑顔畑の山ちゃんファーム 代表 山下 光之さん

曾祖父の代から100年に渡って春野町で農業を営んでおり、春野耕作隊のメンバーとして農業を通じた春野町の盛り上げに尽力しています。六次産業化にも積極的に取り組んでおり、水戻し不要・農薬不使用で甘みと栄養が濃縮された「山のすめ大根」はふじのくに新商品セレクション2019で金賞を受賞しています。今回の実証プロジェクトでも大根の生産と加工を中心に、スモールスマート農業の実証に取り組んでいきます。

4 プロジェクトで予定している主な実証項目

- (1) リモコン草刈機、自動操舵トラクターによる圃場整備の省力化
- (2) 農業用ドローンによる生育のセンシングと追肥の効率化
- (3) IoTカメラ及びIoT電気柵による獣害軽減と見回りの省力化
- (4) アシストスーツによる収穫作業の省力化
- (5) 高機能な食品乾燥機による食品加工工程（切り干し大根）の歩留まり向上